

アパレル設計～パターンメイキング（型紙製作）： 概要

職務遂行のための基準

（概要）

デザイン画を基にブランドコンセプトを商品化するためのパターン（型紙）を作成する仕事。

仕事の内容

デザイナーの意図を汲み取り、デザイナーが表現したい微妙なニュアンスが実現できるよう、生地素材の特性や副資材の選定についてデザイナーと意見交換をしながらサンプルパターンを作成していく。

サンプルパターンを作成したのち、実際に縫い上げられたサンプルを見ながらパターンを調整し、最終的な量産パターンとする。その後、縫製工場において、生地ロット毎の特性や縫製方法、求められる品質水準に応じて縫い代の調整等が行われ、生産に向けたパターン（量産パターン）となる。基本サイズからのサイズ展開は、グレーディングと呼ばれ、デザインに応じて必要であればピッチ配分等の変更を行う。

近年ではパターンメイキング、グレーディング等の作業にCADを用いることが一般的であるが、ますますデザインの意図を把握していることが重要になっている。

求められる経験・能力

- （１） トренд動向の知識や感覚が求められる。デザイナーの意図するデザインを実現するため、デザイナーの感性を汲み取れるようなファッション感覚を身につけておく必要がある。
- （２） デザインと縫製をつなぐ仕事であり、デザインや素材に対する理解と縫製技能の習熟を兼ね備えていることが理想的である。
- （３） グレーディングでは、人体工学的な知識及びグレーディングピッチに関する知識とグレーディング技能を有していることが必要である。
- （４） 近年ではパターンメイキングやグレーディングの作業にCADを用いることが一般的であるため、CADに関する知識と技能を有していることが望ましい。

（関連する資格・検定等）

- 技能検定 婦人子供服製造職種（特級） 婦人子供服製造職種（型紙製作作業）（１級、２級）
婦人子供服製造職種（縫製作業）（１級、２級）
- パターンメイキング技術検定試験（１級、２級、３級）
- ファッションビジネス能力検定（１級、２級、３級）
- ファッションコーディネート色彩能力検定（１級、２級、３級）
- カラーコーディネーター検定（１級、２級、３級）